

(財)日本医療機能評価機構認定病院

地域医療支援病院

盛岡赤十字病院地域医療連携室広報誌



# LEAF

令和5年10月  
第48号  
盛岡市三本柳 6-1-1  
盛岡赤十字病院  
地域医療連携室  
発行責任者 院長 久保直彦

## <基本理念>

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、  
みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。



写真：院庭裏の赤トンボ

特集

新しい血管撮影装置のご紹介  
眼科白内障手術再開のお知らせ  
糖尿病週末食事体験入院のご案内  
脳卒中相談窓口の設置について  
子どもを虐待から守る！ 養育支援チームの発足

# 新しい血管撮影装置のご紹介

血管撮影装置の更新が行われ、PHILIPS社のAzurion7 B20/12を導入しましたので紹介します。

## 新装置概要

対角20インチと対角12インチのフラットパネルディテクタ（FPD）を搭載したバイプレーンシステムです。高性能なFPDは低線量で高画質を実現しており、末梢血管の描出に優れ、造影剤や構造物の濃度を微細に検出することが可能です。手技のサポート機能として、ロードマップ透視やリアルタイムステント強調表示、血管解析ツールなどを備えています。3D撮影も可能であり、さまざまな計測・シミュレーション機能を搭載し手技のサポートを行います。心臓領域を中心に頭部を含めた全身領域のインターベンションに対応可能な装置となっています。

## 被ばく低減

X線検出効率の高いFPDやグリッドスイッチ式パルス透視、被ばく低減用付加フィルタなどにより被ばく線量が制御されています。さらにClarity IQというPHILIPS独自のシステムを搭載することで、より高いレベルの被ばく低減と高画質を実現しています。

## 患者さんの負担軽減

バイプレーンで一度に2方向から撮影することで造影剤使用量を減らすことが可能です。また、ワークフローの向上による手技時間の短縮も期待できます。検査室用大画面モニタ（58インチ）への必要情報（PACS・ポリグラフ・IVUS等）の集約やタッチパネルでの目視による正確な操作、オートポジション機能の使用などにより手技の効率化、ワークフローの改善が可能です。

被ばく低減と合わせて、手技における患者負担の軽減が期待できます。寝台には低反発マットを装備しており、長時間寝ていても疲れにくくなっています。

新装置により、今まで以上に患者さんにやさしい医療の提供が可能となりました。



# 眼科 白内障手術再開のお知らせ

この度、当院眼科の白内障手術を再開することとなりました。当院眼科を休診とした際、かかりつけ患者様をお引き受けいただくなど、ご協力いただきありがとうございました。白内障手術のご希望のある患者様につきましては、また当院へご紹介をいただけますと幸いです。

手術開始時期：令和5年10月

手術日：毎週水曜日 2泊3日の入院となります

※現行通り、日帰りの硝子体注射も行っております



- ご紹介方法について：外来申込書と診療情報提供書を当院地域医療連携室へお送りください。
- 予約受付について：FAX 019-637-3313（専用） 受付時間 平日 8:30~16:50  
電話 019-637-3312（直通） 受付時間 平日 8:30~17:00  
※休日（土日祝日・創立記念日5月1日・年末年始12月29日~1月3日）を除く

## 脳卒中相談窓口の設置について

2018年12月に「健康長寿の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が国会で成立し、2020年10月には「循環器病対策推進基本計画」が策定されました。脳卒中患者にワンストップで相談に乗るため、日本脳卒中学会では2022年に一次脳卒中センター（PSC）コア施設に「脳卒中相談窓口」を設置し、今後PSC施設から回復期・維持期生活期へと拡充される予定となっています。

こうした経緯があり当院でも今年7月に「脳卒中相談窓口」を設置しました。「脳卒中相談窓口」は脳卒中専門医資格を持つ医師と日本脳卒中学会にて認定を受けた「脳卒中療養相談士」（看護師、社会福祉士各1名）で構成されています。

当院に脳卒中で入院歴がある方とその家族に対して、脳卒中に関するご相談を医師・看護師・社会福祉士・薬剤師・栄養士・理学療法士等の専門職が解決策を一緒に考えていく支援を行っています。

### 対象者

- ・当院に脳卒中で入院歴がある方とその家族

### 主な相談内容

- ・脳卒中の医療や介護について
- ・脳卒中の治療や予防、後遺症について
- ・経済的、社会的なお困りごと
- ・患者・家族の生活上の注意点
- ・仕事と治療の両立について
- ・介護保険・福祉サービスについて
- ・その他の脳卒中に関すること

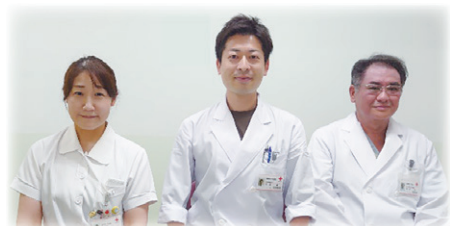
### 受付部署/場所・連絡先

- ・総合患者支援センター（1F 内科外来向かい）・019-637-3111（内線338）

### 受付時間

- ・月~金（土・日・祝日除く） 9:00~16:00 面接日時は受付後に日程調整させていただきます。

※相談は無料です。守秘義務は遵守します。





## 子どもを虐待から守る！養育支援チーム（CPT：Child Protection Team）の発足

児童虐待は社会において深刻な問題となっており、残念なことに児童虐待の件数は毎年のように過去最多を更新しています。今年4月にはこども家庭庁の創設と同時に、こども基本法が施行されました。その中でも児童虐待から子どもを守ることは重要な施策の一つとなっています。医療機関は虐待の予防と早期発見の役割を求められることから、これまでの虐待対応をより強化するために、当院では今年6月に養育支援チーム（CPT：Child Protection Team）を発足し、活動を開始しています。

CPTのメンバーは小児科医師、産婦人科医師、看護師、社会福祉士で、児童相談所や市町村との連絡調整を図ることにより、外来や入院中だけでなく、地域で子どもや家庭のサポートを形成していきます。

しかし一つの医療機関で問題を全て把握し、解決していくことは困難です。複数の医療機関を受診している場合もあり、保育園・幼稚園、学校でもなにかサインを発しているかもしれません。地域の皆さんと虐待の予防と早期発見のため、情報や支援方針を共有して子どもたちの安全や安心を守る支援の輪を広げていくことが必要だと考えていますので、より強い連携を図っていききたいと思います。



## 糖尿病週末食事体験入院のご案内

当院の糖尿病週末食事体験入院では、患者さんに合った糖尿病食の体験と、適切な食事管理のもとでの血糖値の日内変動を確認できます。日内変動検査結果、指導内容（栄養・薬剤）について、退院後1週間以内に紹介元の医療機関様にお送りします。詳しくは当院ホームページをご覧ください。

### 入院の対象となる方

- ・糖尿病の診断があり食事療法を体験したい方
- ・重篤な合併症のない方
- ・内服薬・インスリンの自己管理ができる方

### 検査内容

- ・身長・体重・BMI(体重は毎日測定)
- ・日内変動
- ・腹部CTによる内臓脂肪測定(2泊3日コースのオプション)

### 指導内容

- ・個別栄養指導、薬剤指導(2泊3日のみ)、運動療法、足の観察、低血糖について(DVD学習)、合併症について(希望者のみDVD学習)、シックデイ・日常生活について(希望者のみDVD学習)

### 入院費用

- ・1泊2日コース：1割負担の方 8,730円～、3割負担の方 23,310円～
- ・2泊3日コース：1割負担の方 12,930円～、3割負担の方 34,460円～

### オプション料金

- ・同伴者の食事提供 1食 600円(税込)
- ・腹部CTによる内臓肥満測定 3,240円(税込・2泊3日コースのみ)

